

東日大昌平 初の甲子園



初の甲子園出場に喜びを爆発させる東日大昌平ナイン＝25日、郡山市・ヨーク開成山スタジアム

高校野球福島大会 決勝 学法石川に10－7で勝利 夏はいわき勢31年ぶり

第108回全国高校野球選手権福島大会(県高野連など主催)は25日、大会10日目の最終日を迎え、郡山市のヨーク開成山スタジアムで決勝が行われた。17年ぶり2度目の決勝に進出した第4シード・東日大昌平が、第2シード・学法石川を10－7で下し、春夏通じて初の甲子園出場を決めた。

いわき勢で甲子園に出場するのは磐城、平工、いわき海星(現・小名浜海星)に次いで4校目。夏は1995(平成7)年の磐城以来31年ぶり。

東日大昌平は初回到四番・緑川楓麻(3年)の適時三塁打で口火を切ると、着実に追加点を重ねてリード。追いすがる学法石川を振り切って勝利を手にした。

全国高校野球選手権大会は8月5日、兵庫県西宮市の甲子園球場で開幕する。組み合わせ抽選は1日。

◇決勝

(ヨーク開成山スタジアム)

東日大昌平

3	2	0
0	2	1
1	0	0
0	1	2
1	0	1
0	1	1
7	10	

学法石川